

元気な風がふくまち

NAKAMA CITY Public Relations

ななかま

広報

8 2011 No.896

平成23年 8月10日発行

暑い夏を元気いっぱい駆け抜ける



CONTENTS

もくじ

特集 2

「脱・少年非行」

夏休みが増加する、少年非行を考える

市からのお知らせ	6
まちのわだい	8
環境・市民協働・消費者相談	10
くらしの情報・無料相談	11
健康ファミリー・医療講座	14
人権作文・おはなし会と講演会	15
みんなのひろば	16
文芸歳時記	18

表紙の説明は18ページをご覧ください

気持ちが緩む夏休み

子どもたちにとって、待ちに待った夏休み。夏休みは学校や勉強から解放されて、学校以外でのさまざまな体験ができる機会です。

一方で、子どもたちの気も緩みがちになり、夜遅くまで街中を出歩いたり、お酒やたばこに手を出したり、さまざまな誘惑に負けやすい時期でもあります。

特に、子どもが夜遅くまで街中を出歩くことは、飲酒や喫煙、薬物乱用に誘われたりするなど、さまざまな非行の入口になるだけでなく、犯罪被害に遭うきっかけにもなります。

子どもたちが非行を犯したり、犯罪被害に遭ったりしないようにするためには、家庭や学校で子どもたちに注意を呼びかけるとともに、地域や社会全体が協力して、子どもが健全に成長できる環境づくりをしていくことが重要です。

夏休みに入り、それぞれの家庭でも、子どもを非行や犯罪被害から守るために何ができるのかを考えてみましょう。楽しいはずの夏休みも、犯罪に巻き込まれたり、罪を犯したりすると、思い出したくない、つらい経験となってしまいます。

今回は、少年非行について考えてみましょう。

特集

脱・少年非行

世間は夏休み。夏休みは楽しいことが盛りだくさんです。しかし、その一方でこの時期に増加する少年非行や犯罪。子どもたちが非行を犯したり、犯罪に巻き込まれたりしないようにするために、大人ができることは。

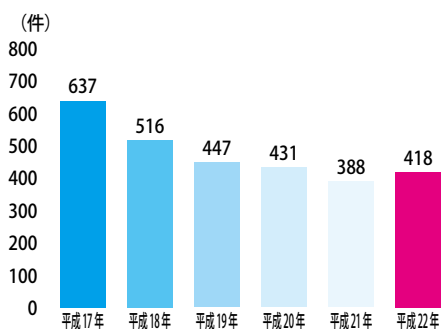
中間市の重点犯罪発生状況は

全国でも少年非行の発生率が高い福岡県。そこで、福岡県や福岡県警などが一体となり、モデル地区を指定して少年の非行対策を推進してきました。

そのモデル地区として中間市が指定を受けたのは平成18年度。それから、刑法犯少年の多くを占める「万引き」「自転車盗」「シンナー乱用」の撲滅に重点を置いて、非行防止に取り組んできました。

この非行防止事業は今年で6年目。平成22年の青少年の重点犯罪は、平成17年に比べ34%減少となり、大きな抑止効果が得られています。しかし、平成21年に対しては8%の増加。これは、窃盗団による車上ねらいなどの被害によるものです。

中間市重点犯罪発生状況



参考：折尾警察署資料

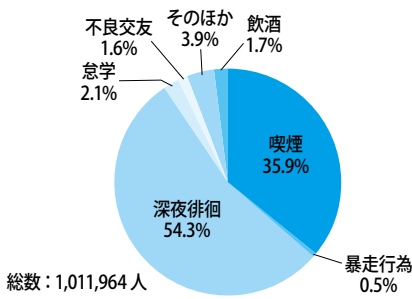
特に夜はあぶない

喫煙や飲酒、深夜徘徊などの不良行為で補導された少年のうち、半数以上が深夜徘徊だといえます。夜の街中には危険がたくさんあります。恐喝や暴行、性犯罪などの被害に遭う危険もあります。

また、薬物乱用や喫煙・飲酒などを誘ってくる人たちもいます。さらに、悪い仲間と付き合いようようになって、万引きや窃盗、傷害、暴行などの非行・犯罪に自分自身が関わってしまう危険もあります。

夏休みになるとついつい気が緩んでしまう気持ちもわかります。しかし、その気持ちの緩みの裏に多くの危険が潜んでいることを理解していなければなりません。

不良行為少年の態様別構成比(平成22年)



参考：少年非行等の概要(警察庁)



車上ねらいや自転車盗を含む街頭犯罪などは約7割が少年といわれています。

中間市非行防止推進協議会副会長 池田久紀さんに Interview

多くの大人たちの目で見守る

私たちは、ふるさとみまわり隊によるパトロール活動やタクシー会社、ガス会社、郵便事業株式会社の協力による、走るみまわり隊の昼夜を問わないパトロールを実施しています。昨年の12月24日に実施した福岡県下一斉の年末パトロールには、折尾警察署や防犯協会、約130人のみまわり隊が参加しました。また、犯罪に巻き込まれたときに大きな声を出せるようにと、今年の4月16日に垣生公園で大声大会を開催しました。これらの活動に

は多くのみなさんの協力があり、中間市全体で安全で安心なまちづくりに努めています。

悪いことをする子どもはいますが、それはごく一部が目立っているように思います。以前に比べて、夜間に子どもたちの姿を見ることも少なくなりました。だからといって罪を犯したり、犯罪に巻き込まれたりすることがゼロになったというわけではありません。これからも数多くの大人たちの目で、子どもたちの健やかな成長を見守り続けたいですね。



大人たちの目に映るもの

非行を犯す子ども、犯罪に巻き込まれる子どもを救いたい。
中間市には、そのような思いで活動する人がたくさんいます。
大人たちの目に、子どもたちはどのように映っているのでしょうか。

子どもたちに目を向けて

なぜ、非行に走る子どもたちがいるのでしょうか。家庭での問題であったり、学校での問題であったり、いくつもの要因があると考えられます。家庭であれば親子が、学校であれば先生と生徒が、地域であれば近所の人同士が向き合うことが必要です。

しかし、近年では親子が触れ合う時間が少なくなったり、近所付き合いが希薄化したりするなど、人と人とのつながりがなくなってきました。子ども的人格形成に大きな役割を果たす家庭。幼児期から親に善悪の区別をしつかりつけてもらわなければならない子どもたちにとって、親子の関係がなくなってしまうたら。昔であれば、悪いことをする子どもにもその場で注意し、悪いことは悪いと教えてくれた地域の大人たちがいなくなったら。

人とのつながりがなくなってしまう子どもたちは、人との付き合い方や自分の居場所を失ってしまいます。そして、自分の思いや考えをうまく表現できなかったり話せなかったりしたとき、そのはけ口を探すようになってしまいます。それが犯罪であってはなりません。

中間市には、そのような子どもたちが生まれないように活動している人たちがいるのです。

大切なのは子どもの心理状態を知ること

中間市少年相談センター所長 伊藤 功一さん

私たちは、非行を犯す子を持つ親や、さまざまな悩みを抱える子どもたちからの相談に応じたり、中間市少年相談センター補導員と夜間に市内を巡回したりしています。非行を犯す子どもに注意してほしいとよく相談されますが、私は子どもをしつける場所は家庭だと思っています。そこで、5年前から親学講座を始め、子育ての仕方や、親としてのあり方などを話しています。非行を犯す子どもたちは、楽しい場所や居心地がいい場所を求めて、同じ境遇の子どもたちが集まる傾向にあります。反発する理由は必ずあります。子どもたちにとって家庭が楽しい場所となるためには、親子が向き合い、子どもの心理状態を知ることが大切です。親が変われば子は変わってくれるはずです。

未成年者の非行などに関する相談はこちら。

●問合先 中間市少年相談センター
☎(246) 0484



子どもたちへの声かけから始めよう

ふるさとみまわり隊 大田 美子さん

夜に1人で歩くと危ない場所は、その地域の人が一番詳しいものです。私たちが行っているパトロールは、公園や人通りが少ない所が中心ですね。おそろいのベストを着て集団で歩くことで、犯罪の抑止力として効果があるのではないかと思います。それに、歩いて回ることで、自分自身の健康のためにもなります。よく顔を合わせる高校生たちは、私たちに気付くと挨拶をしてくれるようになりました。それだけこの活動も浸透しているのだと思います。パトロール中に、清掃活動をしている人やウォーキングをしている人をよく見かけます。多くの大人たちが市内でさまざまな活動しているので、活動をしながら子どもたちに声をかけたり、様子の変化に気付いたりすることが大切だと思います。



地域で子どもたちを見守る

昨年、折尾警察署管内で検挙・補導された少年の数は、県内34警察署の中で3番目に多く、極めて憂慮する状況にあります。特に夏休みは、生活態度の緩みと解放感などに伴い、万引きや自転車盗などを犯す少年の数は増加する傾向にあります。

私たち警察は、未然の防止策として、小中学校での非行防止教室・薬物乱用防止教室の開催や、警察署長が委嘱した少年補導員や学校の先生たちと、青少年のたまり場になりやすいゲームセンターなどを重点的に補導活動を行っています。そして、今年の4月からは、補導した少年に「警告カード」を交付し、1か月で3枚カードがたまると、必要に応じて少年だけでなく、保護者を警察署に招致して指導・助言を行うようにしています。

また、非行を犯した少年たちが、もう二度と非行を犯さないようにすることも大切です。そこで、非行を犯した少年たちの立ち直り支援として、農園を開園して少年と一緒に作物を育てたり、地域のごみ拾いに参加したり、家庭訪問を行ったりしています。

しかしながら、私たちだけによる取り締まりや立ち直り支援には限界があります。そこで、警察だけでなく多くのみなさんと協力し、地域ぐるみで少年非行の減少に向けた取り組みを行う必要があります。

子どもの健やかな成長には、幼いころからの家庭でのしつけが欠かせません。親が子どもと向き合い、変化に気付くことが重要です。非行を犯す子どもたちは、必ず何らかのサインを出しています。そこに気付くためにも、

愛情をこめて子どもたちに接することが1番です。非行を犯す子どもたちは、個人個人はみんな良い子たちなんです。でも、仲間に誘われて非行を犯してしまっているのです。非行少年を生まない社会作りのために、これからも警察と行政、地域が連携し社会全体で子どもたちを見守っていく必要があります。



青パトが市内を走る



午後3時ごろの昼パト、午後7時ごろの夜パトとして活動中。不審者情報やシンナー吸引情報などがあった場所を重点的に、市内全域のコンビニエンスストアや公園などをパトロールしています。

温かな気持ちで正面から向き合う

遠賀・中間保護司会会長 下川路 勲さん

私たちは保護観察中の非行少年などと接触し、社会復帰への指導や助言を行っています。現状としては、再犯者が多いので、再犯の防止が課題です。これは、本人の問題だけでなく、家庭や友だちなど、周りの環境が再犯を誘発する大きな要因となっているため、家庭や地域の協力が必要です。基本的な社会のルールが身につけていない子どもが多く、更生に時間がかかります。子どもは親のすることを真似るものです。だから親が率先して行動で示すことが大切ではないでしょうか。これからは、学校と連携して、非行を犯す子どもたちの予備軍を作らないことが重要となってきます。担当した子どもたちの更生していく姿を見れるように、温かな気持ちで、正面から向き合っていきたいですね。

保護司の活動に興味がある人はご連絡ください。

●問合せ 遠賀保護区保護司会

☎(201)2144

「気楽に学べる文学講座」受講生を募集

●問合先 中央公民館

☎(246)2321

佐木隆三
さんなどが
語る、興味
あふれる文
学の世界。



佐木隆三さん

●**申込方法** 講座名、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を記入のうえ、往復はがき、FAXまたはメールで申し込んでください

●**申込締切** 9月2日(金)

演題は、「文学と犯罪小説」「杉田久女とその周辺の俳句」「大河ドラマを楽しむために〜文学が描いた石田三成の末期〜」「和歌と物語のあいだ」など幅広い内容となっています。

●**申込締切** 9月2日(金)
※中央公民館窓口で申し込む場合は、郵便はがきを1枚持参してください。受講決定者には、はがきやメールなどで9月9日(金)までに連絡します。

●**期 日** 9月20日〜10月11日の毎週火曜日(全4回)

●**申込・問合先** 中央公民館(〒809-0014蓮花寺三丁目1-1)

●**時 間** 午後1時30分〜3時

☎(246)2321

●**場 所** 中央公民館

FAX(246)0277

●**受講料** 無料

○メール kouninkan@city.nakama.fukuoka.jp

●**講 師** 佐木隆三さん(直木賞受賞作家)など

垣生公園の整備工事をを行います

●問合先

都市整備課

☎(246)6261

7月末から平成24年3月まで、垣生公園内の整備工事をを行います。複数の工事を行いますので、垣生公園内の広場が一部使えません。

近隣にお住まいのみなさんや公園を利用するみなさんには、たい

へんご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



整備予定の垣生公園内

今年もやります「なかまスポーツフェスタ 2011」

●問合先 生涯学習課

☎(246)6224

今年も「なかまスポーツフェスタ2011」を行います。なかまと共に、スポーツ活動に参加し、中間市を元気にしましょう。

●**日 時** 10月9日(日) 午前8時30分〜

●**場 所** ○メイン会場：体育文化センター

○サブ会場：市内各会場

●**種 目** ○メイン会場：総合開会式、ニュースポーツ紹介、綱引き大会

○サブ会場：未定

※詳細が決まり次第、お知らせします。

なかまTUNA☆HIKING決定戦参加者募集

なかまスポーツフェスタ2011で開催する綱引き大会の参加者を募集します。

●**期 日** 10月9日(日)

●**場 所** 体育文化センター

●**募集部門・定員**

○校区対抗小学生の部：小学生男女問わず6人1チーム

○小学校区2チーム(各1チーム・先着12チーム)

○一般の部：中学生以上の男女問わず6人1チーム・先着8チーム

※いずれも交代要員は3人まで登録できます。

※一般の部は、中学生または女性3人を男性2人分のみなします。

※小学生の部は、選手のほかに監督者を必ず一人つけてください。

●**参加条件** 市内在住、在勤者に限ります

●**参加料** 無料

●**表 彰** 各部門2位まで※賞品・参加賞もあります。

●**応援参加** 応援者は3人までです。応援パフォーマンス賞がありますので、応援でチームと大会を盛り上げましょう

●**代表者会議** 9月20日(日) 午後7時から体育文化センターで行います。監督・代表者は必ず出席してください

●**申込方法** 生涯学習課と体育文化センターに備えつけの申込書に必要事項を記入のうえ、FAXで申し込んでください

●**申込期間** 8月18日(日)〜9月5日(日)

●**申込先** 生涯学習課、体育文化センター

FAX(244)1384

※直接窓口にお申し込みすることもできます。

●**申込先** 生涯学習課、体育文化センター

FAX(244)1384

※直接窓口にお申し込みすることもできます。

●**申込先** 生涯学習課、体育文化センター

FAX(244)1384

Topic & Information

男女共同参画講座を開催します

中間市は、女性も男性もずっと住みたいまち、住みたくなるまちをめざしています。今回は、「地域に活かそう あなたの力 私の力」をテーマに、地域や市民活動の中での男女の関わり方について、講演とシンポジウムを行います。

パネリストは、中間市で地域リーダーとして活躍中のみなさんです。市内の身近な事例について、熱く、わかりやすく語っていただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 日 時 9月3日(土)・午後1時～3時
 - 場 所 中央公民館
 - 講 師 中嶋玲子さん(福岡県男女共同参画センターあすばる前館長)
 - パネリスト
 - 池田久紀さん(中間市自治会連合会)
 - 木下幸子さん(中間市婦人会)
 - 藤澤冬美さん(中間市ボランティア連絡協議会「もやいの会」)
 - 大野孝通さん(なかまの環境を良くする会)
 - 参加料 無料
- ※事前の申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。一時保育を希望する人は、8月27日(土)までに連絡してください。

●問合せ 中央公民館 ☎ (246) 2321

第34回中間市子どもまつり

今年もたくさんのアトラクションやバザーを用意しています。多くの方の参加をお待ちしています。

- 日 時 9月11日(日)・午前9時30分～午後1時30分
- 場 所 中央公民館前広場



昨年開催された子どもまつりの様子。

●問合せ 中央公民館 ☎ (246) 2321

全国健康保険協会が運営する健康保険の愛称を協会けんぽといいます。

今回、協会けんぽ被扶養者の特定健診と中間市がん検診を同時開催します。

- 期 日 10月11日(火)
- 場 所 保健センター
- 内 容 特定健診、各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん)

※特定健診の料金は500円です。各種がん検診の料金など詳しくは、健康づくりカレンダーをご覧ください

●申込方法

- 特定健診：全国健康保険協会福岡県支部へ電話で申し込んでください
- がん検診：住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、性別、電話番号、希望のがん検診名を記入のうえ、はがきで保健センター協会けんぽがん検診受付宛(〒809-0014蓮花寺三丁目1-6)へ申し込んでください

●申込締切 9月6日(火)

中間市では、これまで「障害」と書き表していたものを、「障がい」と改めます。

変更理由は、一般的に「障害」の「害」の字は、「悪くする」「わざわい」などの否定的な意味あいを持ち、人を表すときに「害」を用いることは人権尊重の観点から好ましくないと意見があるからです。そのため、障がいのある人が不快感を感じないように、市が率先して表記を改めることにしました。なお、原則として固有名詞や法令などを除きます。みなさんのご理解をお願いします。

お子さんに優しく語りかけながら、オイルを使ってマッサージしてあげませんか。

- 日 時 8月23日(火)・午前10時30分～11時30分
- 場 所 子育て支援センター
- 参加対象 4か月～1歳の親子15組
- 持ってくるもの 着替え、バスタオル、飲み物
- 参加料 無料
- 申込方法 8月19日(土)までに電話で申し込んでください

※未受講者優先です。

協会けんぽ被扶養者の特定健診と中間市がん検診を同時開催

●問合せ 保健センター

☎ (246) 1611

「障がい」の表記にご理解をお願いします

●問合せ 総務課

☎ (246) 6232

ベビーマッサージ教室

●問合せ 子育て支援センター

☎ (245) 5557

竜神様のお通りだ

7月17日・長津祇園山笠まつり

気温が30度を超え、雲ひとつないこの日。長津祇園山笠まつりが開催されました。竜神様の神輿につけられたロープを力強くひっぱる子どもたち。あまりの暑さに、水をかけようと待ち構えている町内の人に、「かけて、かけて」とおねだり。神輿行列の後方では、大きな背中の人たちが、がっちりと神輿を支えていました。

このコーナーでは楽しいイベントや地域の話などをお届けします。



たくさん本を読んでください

6月30日・国際ソロプチミスト中間が図書カードを寄贈

図書カードを寄贈するため、国際ソロプチミスト中間の松下須和子会長らが吉田孝教育長を訪ねました。国際ソロプチミストとは、実業界や専門職で活躍する女性の国際的なボランティア組織です。贈られたこの図書カードは、市内の各小中学校図書室の本の購入に使われ、たくさん子どもたちの心の栄養となることでしょう。

お米はどうやってできるの

6月20日・南小学校児童が田植え体験

「きゃー！冷たいっ」悲鳴を上げながら田んぼに足を入れる子どもたち。南小学校5年生の児童たちが、垣生地区の田んぼで田植えを体験しました。初めての、素足に感じる泥の感触に、「足の裏になんかおる～」などと叫びながらも、教えられたとおり丁寧に土をならし、1列ずつ懸命に苗を植えていきました。





同和問題に関心をもって

7月8日・同和問題啓発強調月間街頭啓発

7月は、同和問題啓発強調月間です。福岡県や県内の市町村は、毎年各地で啓発事業を行っています。中間市では、市民のみなさんに同和問題の正しい理解と認識を深めてもらうため、ショッピングモールなかま周辺で啓発のチラシとタオルを配りました。「守ろう人権」と大きく背中に書かれたハッピーを着た参加者にチラシを渡された市民のみなさんは、立ち止まって、興味深そうにその内容に目を通していました。



お得な商品券を発売しました

7月2日・中間市地域振興券「元気な風商品券」発売

1冊 10,000円で11,000円分の商品券が使える、中間市地域振興券が、昨年に引き続き7,000冊の限定で発売されました。特設会場のさくらの里地域交流センターには、このお得な商品券の発売を待つ人で、行列ができる好評ぶり。お目当ての品物を思い浮かべているのか、笑顔で購入する人の姿がたくさん見られました。「元気な風商品券」の利用有効期限は10月31日まで。ご利用をお忘れなく。



考えて行動しよう、未来のこと

7月22日・人権みんなの幸せを願う集い

なかまハーモニーホールで人権みんなの幸せを願う集いが開催されました。今回の講師は、9月11日の同時多発テロを受けて出版した「世界がもし100人の村だったら」で著名な池田香代子さん。アメリカ原住民のホピ族の言葉を引用し、「自然環境は、私たちが先祖から受け継いだものではなく、子孫からの預かりもの。ふるさとの過去、現在、未来にどう関わっていくのか、真剣に考えてほしい」と語りかけました。



もぐもぐぱっくん残さず食べよう

7月28日・子育て支援センターで食育パネルシアターを開催

子どもたちのきらきらした笑顔を大切にしたいという思いから、福岡県民共済の「食育パネルシアター」が開催されました。今回は、県民共済のキャラクターである「みんみん」とともに、中間市のキャラクター「なかっぱ」も登場。食べ物やあいさつの大切さを楽しく学びました。子どもたちは、「よくかんで残さず食べる」「自分からあいさつをする」という2つの約束をし、イベントの最後には、なかっぱとみんみんと記念撮影をしました。

もえるごみ搬入量状況

平成23年度のもえるごみ搬入量は、対22年度比5%の減量を目指しています。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

	23年度	22年度	差(23年度-22年度)	減量率
6月	1,041,970kg	1,054,680kg	△12,710kg	1.2%
累計	3,071,980kg	3,151,640kg	△79,660kg	2.5%

やっちゃん環境

●問合せ 環境保全課 ☎(246) 6265

この夏、省エネルギー・節電に努めよう

この夏は全国的に電力不足が心配されています。私たちの生活にとってエネルギーは欠かせないものですが、無駄なエネルギーを抑える省エネ・節電の取り組みは、限りある資源の有効利用や地球温暖化の防止にとって大切なことです。

財団法人省エネルギーセンター

「家庭の省エネ大事典2011年版」を参考に、省エネ・節電のための方法を紹介します。

電気の使い方を見直し、私たち一人ひとりが地球にやさしい生活を実践しましょう。

■待機電力の削減

○使っていない家電製品はプラグをコンセントから抜きましょう。待機電力をカットできます。

※家庭の年間消費電力のうち6%が待機電力といわれます。

○年間節電量：約284kWh

○年間節約金額：6,248円

■エアコン

○冷房時の室温は28℃を目安に設定しましょう。扇風機を併用すると空気が循環して効果的です。

○フィルタをこまめに掃除しましょう。

○年間節電量：約62kWh
○年間節約金額：1,370円

■冷蔵庫

○ものをつめ込みすぎないようにしましょう。

○熱いものは冷ましてから冷蔵庫に入れましょう。

○設定温度を「強」から「中」にしましょう。

○年間節電量：約105kWh

○年間節約金額：2,320円

■テレビ

○1日1時間、テレビを見る時間を減らしましょう。

○年間節電量：約15kWh

○年間節約金額：330円

※20インチ液晶テレビの場合。

■照明

○点灯時間を短くしましょう。

○白熱電球をLED電球、または蛍光灯に取り替えましょう。

○年間節電量：約19・71kWh

○年間節約金額：430円

※54Wの白熱球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。

■コンセントはこまめに抜きましょう



はばたけ！市民活動

～ちいさな力を集めて、まちづくり～



南カナリーズ

私たちは、中間南中学校で木曜日の朝10分間、読み聞かせボランティアを行っています。読む本は各自が選び、それぞれの個性がきらりと光っています。お互いに本の内容について話し合うのもとても楽しい時間です。本は、知識や感動、勇気、思いやりを与えてくれます。

これからも、本のすばらしさを伝えていきたいと思っています。みなさんの参加をお待ちしています。

●問合せ ボランティアセンター ☎(246) 2184

NO 悪質商法

●消費生活相談窓口

☎(246) 5110

「足場を貸して」を口実に、屋根工事の勧誘にご用心

「足場を借りたい」は嘘であることが判明した。

■事例 「隣の家の工事をするので足場を借りたい」と業者がきた。うちの屋根に上がり、「古い」「雨漏りがする」と屋根工事を勧誘された。初めは断ったが、「瓦を留めている土が流れて家が壊れる」などと1時間近くしつこく言われ、病院に行く予定で時間も気になったので、工事代金合計23万円の書類に署名した。後で、隣の家は工事の勧誘を断

■アドバイス 「隣の屋根工事のために足場を借りたい」と、相手の善意を利用して勧誘のきっかけをつくり、「屋根が傷んでいる」「雨漏りがする」などと不安にさせ、契約をさせる手口です。本当に必要な工事なのかをよく考え、業者に言われるままその場で契約しないようにしましょう。クーリング・オフが可能な場合がありますので、消費生活相談窓口へ相談ください。

くらしの 情報

Information

フラダンスを体験してみませんか

夏らしさを楽しめるフラダンス教室を開催します。

- 日 時 9月1日(因)・午後2時～3時
- 場 所 地域交流センター
- 講 師 高須賀幸子さん
- 料 金 無料
- 持ってくるもの 上履き
- 問合先 地域交流センター
☎245(4665)

高齢者の交通事故が増えています

福岡県内の高齢者の交通事故死亡事故が増えています。歩行するときや自転車を運転するときは、次のことに注意してください。

- 明るい服を着用し、反射材を身につけましょう
- 道路を横断するときは、横

断歩道を渡りましょう
○車の直前や通過直後の横断はやめましょう

- 問合先 交通事故をなくす福岡県民運動本部
☎092(643)3167

日本オストミー協会 懇談会を開催します

便漏れ、皮膚荒れなどオストメイト特有の困った事はありませんか。高齢化していくオストメイトが安心して暮らすにはどうしたら良いか話し合ってみましょう。

- 日 時 8月28日(日)・午後1時～4時
- 場 所 メイトム宗像(宗像市久原180)
- テーマ 高齢化するオストメイトの対応策
- 料 金 無料
- ※事前申し込みは不要です。
- 問合先 社団法人日本オストミー協会福岡県支部
☎0940(36)4062

献血にご協力を お願いします

若松法人会中間支部の主催、中間ライオンズクラブ・中間市婦人会・国際ソロプチミスト中間・北九州学生献血推進連盟の後援で、献血を実施します。ぜひ、ご協力ください。

- 日 時 8月29日(月)・午

前10時～午後4時30分
●場 所 ショッピングモールなかま

- 問合先 北九州赤十字血液センター
☎(631)1211

調査にご協力ください

平成23年度社会生活基本調査
この調査は、国民の生活時間の配分や自由時間の主な活動を調査し、さまざまな行政施策を作る際の資料とするものです。調査員が8月下旬から調査地域の世帯に伺いますので、ご理解をお願いします。

- 調査地区 池田二丁目4番、6番
- 問合先 福岡県調査統計課
☎092(643)3191
- 毎月勤労統計調査の準備調査
厚生労働省と福岡県は、労働者の賃金や労働時間などの変化を調べる調査を実施しています。その準備のため、9月に調査地区の各事業所へ県知事が任命した調査員が伺います。常用労働者数などをお聞きしますので、ご協力をお願いします。

- 調査地区 中間1～4丁目、

中尾1・4丁目、扇ヶ浦1丁目

- 問合先 福岡県調査統計課
☎092(643)3187

夜間・休日 精神科相談ダイヤル

地域で生活する精神障がい者とその家族の日常生活でのストレスや不安の解消のため、夜間・休日の相談窓口を開設します。相談は無料ですのでお気軽に相談してください。

- 相談電話番号
☎050(377)9824
- 相談FAX番号
☎050(377)9825
- 対象者 精神障がい者とその家族
- 相談時間
○夜間：午後5時～翌日午前8時
- 休日：午前8時～午後5時
- 相談対応者 精神保健福祉士、看護師など
- 問合先 福岡県保健医療介護部健康増進課
☎092(643)3265

近隣騒音防止ポスター・ カレンダーデザイン募集

環境省では、毎年、近隣騒音防止ポスターとカレンダーを作成し、地方公共団体の施設などで掲示して、近隣騒音防止のための活動を行っています。

今回は、近隣騒音防止を呼びかけるためのポスター、カレンダーの図案を募集します。ふるってご応募ください。

- 応募締切 11月25日(金)・当日消印有効
- テーマ 近隣騒音防止の啓発を呼びかけるもの
- ※作品中には文字を入れないでください。

- 応募・問合先 環境省水・大気環境局大気生活環境室(〒100・8975東京都千代田区霞が関一丁目2・2)
☎03(5521)8299

心の輪を広げる体験作文 障がい者週間ポスター募集

- 募集対象・内容
○小学生・中学生…心の輪を広げる体験作文、障がい者週間のポスター
- 高校生・一般…心の輪を広げる体験作文
- 応募締切 9月6日(火)・当日消印有効

- 応募・問合先 福岡県福祉労働部障害者福祉課(〒812・8577福岡市博多区東公園7・7)
☎092(643)3264

福岡県ねりんスポーツ・文化祭参加者募集

●種 目 卓球、テニス、

ゲートボール、弓道、囲碁、将棋、ウォーキング、ボウリング、太極拳など

●参加資格 福岡県内在住で60歳以上の人

※日時や場所は種目により異なります。詳しくはお問い合わせください。

●問合せ先 福岡県新社会推進部県民文化スポーツ課
☎092(643)3407

福岡県職員採用試験 短大・高卒程度

●受験資格

○短大卒業程度：昭和61年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人

○高校卒業程度：昭和63年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人

※試験区分により制限がありますので、詳しくはお問い合わせください。

●試験種類・区分・人数

○短大卒業程度：行政事務・

50人、学校事務・18人、警察事務・30人、栄養士・4人

○高校卒業程度：一般事務・30人、学校事務・10人、警察事務・13人、土木・1人、林業・2人

●第1次試験 9月25日(日)
●申込受付期間 8月15日(日)～26日(金)

※インターネットでの申し込みは8月23日(木)までです。

○福岡県ホームページ
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

●問合せ先 福岡県人事委員会事務局
☎092(643)3956

戦没者遺児の慰霊友好親善事業

父などの眠る地に赴き、慰霊追悼を行い、現地の人と友好親善を深めます。

●対象者 戦没者の遺児
※実施する地域で戦没した遺児に限ります。

●対象地域 中国、ミャンマー、パラオ諸島、フィリピンなど

●参加料 10万円程度
※申込方法や対象地域など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ先 財団法人日本遺族会
☎03(3261)5521

8月は福岡県食品衛生月間です

福岡県では、8月を福岡県食品衛生月間と定めています。

気温と湿度が高い8月は、食中毒の原因となる細菌が増えやすく、毎年、食中毒事故

が多発しています。食中毒は、「食中毒予防の3原則」を守ることで防ぐことができます。

●食中毒予防の3原則

○食品に菌を付けない：調理前はもちろん、調理中も手洗いをし、ほかの食品や器具に細菌を移さないようにしましょう

○菌を増やさない：購入した食品は、なるべく早く調理しましょう

○菌を殺す：食品の中心部まで熱を十分通しましょう。食肉を生で食べることは控えましょう

●問合せ先 福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所
☎0940(36)6098

熱中症に気を付けましょう

今年の夏の平均気温は平年並みか平年より高いとの予報が気象庁から出されています。さらに、今年の夏は厳しい電力供給の状況を踏まえ、エアコンなどの使用抑制が予想されます。

こうした状況の中、熱中症への対応は重要な課題です。一人ひとりが周囲の人に気を配り、熱中症の発生を防ぎましょう。

●熱中症の予防法
○水分・塩分を補給しましょう

○体調に合わせた取り組みをしましょう：こまめな体温測定、通気性の良い服装、保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却
○室内環境を整えましょう：こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水、扇風機やエアコンの使用、こまめな室温確認
○外出時は準備を万全にしましょう：日傘や帽子の使用、日陰の利用、こまめな休憩
●熱中症になったときは
○涼しい場所へ避難させる
○衣服を脱がせ、身体を冷やす
○水分・塩分を補給する
※自力で水を飲めない、または意識がない場合は、ただちに救急隊を要請しましょう。

交通安全ファミリー作文コンクール

ふるってご応募ください。

●テーマ 交通安全に関することであれば自由

●募集締切 9月10日(日)

●募集部門 小学生の部、中学生の部、一般高校生以上の部

●字数 1,200字程度(400字詰め原稿用紙3枚)

●応募方法 題名、応募区分、

郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、電話番号、応募の動機を記入のうえ、郵送してください。

※小中学生は、学校名、学年、学校所在地を明記してください。

●応募・問合せ先 株式会社ネクストアイ(〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目8-17)
☎03(6206)1314

行政書士試験

●試験期日 11月13日(日)
●試験会場 福岡工業大学(福岡市東区和白東三丁目30-1)

●受験願書配布期間
○郵送配布：8月26日(金)まで
○窓口配布：9月2日(金)まで

●受験願書配布場所 福岡県庁、北九州地区県民情報コーナー

※郵送配布もできますので、詳しくはお問い合わせください。

●申込締切 9月2日(金)
※インターネットでの申し込みは8月30日(木)までです。

○財団法人行政書士試験研究センターホームページ
<http://gosei-shiken.or.jp>

●問合せ先 福岡県市町村支援課
☎092(643)3073

無料相談コーナー

～気軽にご利用ください～

心配ごと相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…9月3日(土)、16日(金)、22日(木)・午後3時～5時(前日まで窓口で予約受付・受付時間は月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分・定員10人)

●問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎(244)1230

県巡回交通事故相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…9月14日(木)・午前10時～午後4時(受付は午後3時まで)

●問合せ 総合まちづくり課 ☎(246)2017

行政相談

■場所 ハピネスなかま

行政への苦情・要望などの相談に応じます。
○日時…9月3日(土)、16日(金)・午後3時～5時

●問合せ 総務課 ☎(246)6232

補聴器相談

■場所 介護保険課・ハピネスなかま

○日時…毎月第1～4火曜日・午後1時～2時…介護保険課(市役所1階)、午後2時30分～3時30分…ハピネスなかま

●問合せ 介護保険課 ☎(246)6282

消費者相談

■場所 産業振興課(市役所別館2階)

悪質商法などでお悩みのときはご相談ください。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 消費生活相談窓口 ☎(246)5110

家庭児童相談

■場所 家庭児童相談係(市役所3階)

子どもの養育(しつけ、養育者の問題)など児童に関する相談をお受けします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)3515

悩み・いじめ・教育相談

■場所 少年相談センター(働く婦人の家)

未成年者の非行などに関する相談はこちら。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ 少年相談センター ☎(246)0484

女性のための悩みごと相談

■場所 人権男女共同参画課(人権センター)

あなたが納得のいく生き方ができるようお手伝いします。

○受付 月曜日～金曜日・午前8時30分～午後5時15分

●問合せ 人権男女共同参画課 ☎(245)7801

職業訓練生募集

●訓練科名・定員

○溶接施工科・16人

○CAD/CAM技術科・30人

○ビル設備サービス科・32人

○ビジネスワーク科・30人

○若年者溶接施工科・16人

●対象者 公共職業安定所に求職申し込みをしている人で、受講指示または受講推薦が得られる人

●訓練期間 6か月(10月4日～平成24年3月28日)

●申込締切 8月26日(金)

●申込先 八幡公共職業安定所(八幡西区岸の浦一丁目5・10)

●選考方法 適性検査、面接

●訓練経費 無料

※テキスト代、工具、訓練生保険料などは個人負担です。

●問合せ 八幡職業能力開発促進センター

☎(641)6909

母子家庭のための就業支援講習会

「だれでも学べるやさしいホームヘルパー養成通信講座(2級課程)」を開催します。

●期 間 9月22日(木)～10月25日(予定)

●場 所 なかまハーモニ

ーホール

●講習内容 講義8日間、実習4日間

●提出物の添削などを郵送で行います。

●受講資格 次のすべてに当

てはまる条件です

○母子家庭の母または寡婦

○この資格を生かし就職や転職を希望している人

○全日程すべて出席できる人(遅刻・欠席は資格認定できません)

●受講料 無料

●定 員 15人(応募多数の場合抽選)

●託 児 無し

●申込締切 9月2日(金)・必着

●申込方法 中間市こどもと福祉の課に備え付けの申込書に記入のうえ、郵送かFAXで申し込んでください

●申込・問合せ 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター(〒820・0004 飯塚

市新立岩8・1福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所内)

☎0948(21)0391

☎0948(21)0390

大学通信教育 合同入学説明会

●日 時 9月4日(日)・午前11時～午後4時

●場 所 エルガーラホール8階福岡市中央区天神一丁目4・2)

●対 象 一般、高校生

●問合せ 財団法人私立大

学通信教育協会

☎03(3818)3870

※入退場自由、参加申込不要です。

※説明会参加校など詳しくはお問い合わせください。

◆有料広告掲載のお問い合わせは…

総務課広報広聴係 ☎(246)6271

広報なかまに 有料広告を掲載しませんか?

広報なかまでは、事業所の有料広告を募集しています。広報紙で会社をPRしてみませんか。

●問合せ 中間市役所 総務課広報広聴係
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1-1
☎093(246)6271・FAX 093(245)5598
mail: koho@city.nakama.fukuoka.jp

◆契約料金 1契約につき
一口30,000円×3ヵ月=90,000円
※1契約は最低3ヵ月からとなります。

6か月以上のご契約の場合、契約料金の割引があります

有料広告欄

健康ファミリー

保健センターだより



保健センター ☎(246)1611

健康づくりサポート教室 受講生を募集します

食事編

●日時 9月21日(困)・午前9時30分～午後1時
(受付は9時から)

●場所 保健センター

●テーマ 食事で防ぐ糖尿病
●内容 栄養士による講義と調理実習

●受講対象 次のいずれかに当てはまる人

- 肥満症などの生活習慣病を改善しようと思っている人
- 家族の調理を担っている人
- 生活習慣病について知りたい人

○特にヘモグロビンA1c値が5.1%を超えて、年々上昇ぎみの人

※ヘモグロビンA1c値が5.7%以上で、治療中の人も参加できます。

●定員 40人(先着順)

●参加料 400円(食材料費として)

●持ってくるもの 筆記用具、エプロン、三角巾、電卓、健康手帳、あれば食品成分表

●申込締切 9月14日(困)

※受講取り消しの連絡は、9月14日まで

にお願います。15日以降に受講

取り消し

をする場合は、参加料

400円をいただきます。

で、ご了承ください。

●参加者の声 これまでに開催された、健康づくりサポート教室に参加したみなさんの声を一部紹介します。

○家でする食事は少し濃い味で、試食してみたらこんなにもうす味なんだと気づきました(50歳代・女性)

○食事が薄味だったけど、とてもおいしかったです(70歳代・女性)

○カロリー計算のやり方が勉強になりました(60歳代・女性)

○糖質の取りすぎの怖さを知り、もっと野菜中心の生活に変えなければと思います(60歳代・女性)

○糖質の取りすぎの怖さを知り、もっと野菜中心の生活に変えなければと思います(60歳代・女性)

○糖質の取りすぎの怖さを知り、もっと野菜中心の生活に変えなければと思います(60歳代・女性)



昨年開催されたときの様子

運動編

●日時 9月15日(困)・午前10時～11時30分
(受付は9時30分から)

※午前11時30分～正午は、茶話会、健康食試食会を予定しています。

●場所 保健センター

●テーマ 脂肪が燃えるカラダをつくるカラダのなかから、元気でいよう

●内容 小路美保さん(インド中央政府公認ヨガ教師)によるヨガ、骨盤体操など

●受講対象 子育て世代や在宅ワークをしている、昼間が苦手な人も大歓迎です

※現在、病気治療中の人は、医師から運動制限の指示のない人に限ります。

●定員 25人(先着順)

●参加料 無料

●持ってくるもの 室内シューズ(動きやすい服装)、タオル、水筒(必要な人)、健康手帳

●申込締切 9月13日(困)

●申込締切 9月13日(困)



小路美保さん

●プロフィール
平成20年3月、インド中央政府公認ヨガ教師の資格を取得。「ストレッチ整体」「ヨガ整体」など、身体の歪みを整えながら代謝アップをして体質改善をしていくプログラム展開に力を注いでいる。看護師。

知って得する
医療講座
Medical Lecture
No. 47

熱中症

●今回の講師●



中間市立病院内科 鈴木佳南子 医師

中間市立病院
☎(245)0981
中間市蓮花寺三丁目1-7

猛暑だった昨夏、熱中症による死亡者数は過去最高を記録しました。毎年、約200～400人が熱中症によって命を落としています。昨年は1,718人が亡くなりました。

Q1なぜ、熱中症になるの？

人間の身体は高温環境に弱く、体温が38℃以上にならないようにするために「汗」を出し、「汗」が皮膚表面で蒸発すると放熱し、体温が下がる仕組みになっています。

「汗」は血液中の水分や塩分から成り立っています。暑いところでは、自分の血液中の水分や塩分を犠牲にしながら体温を維持します。そのため水分や塩分が足りず、秋口になって糖尿病を発生することがよくあります。濃度の調整などの工夫が必要です。最近屋内発症の熱中症もあります。屋内では室温を30℃以下に下げることが重要です。

Q2熱中症の症状とは？

全身倦怠感、脱力感、吐き気、頭痛、めまい、動悸、生汗、のどの渇き、筋肉のけいれんや痛みなどです。

Q3熱中症の応急処置は？

とにかく身体を冷却することです。身体を水でぬらして氷嚢などで冷やし、風を当てて体表の温度を下げましょう。

Q4熱中症の予防方法は？

水分と塩分を補給します。高温環境で汗をたくさんかくような作業時は、のどが渇く前に補給することが大切で15～30分ごとに200ml程度の飲水を行います。塩分は200mlの飲水に対して小梅1個、または塩昆布2切れなどで補充します。塩分補給の方法として食塩水(水1ℓに塩分1～2g)、またはスポーツドリンクもおすすです。

しかし、糖分の多いスポーツドリンクを飲みすぎると、秋口になって糖尿病を発生することがよくあります。濃度の調整などの工夫が必要です。最近屋内発症の熱中症もあります。屋内では室温を30℃以下に下げることが重要です。

しかし、糖分の多いスポーツドリンクを飲みすぎると、秋口になって糖尿病を発生することがよくあります。濃度の調整などの工夫が必要です。最近屋内発症の熱中症もあります。屋内では室温を30℃以下に下げることが重要です。

しかし、糖分の多いスポーツドリンクを飲みすぎると、秋口になって糖尿病を発生することがよくあります。濃度の調整などの工夫が必要です。最近屋内発症の熱中症もあります。屋内では室温を30℃以下に下げることが重要です。

子どもたちの瞳に映るもの

「命は大切」

鈴木 茉莉亜さん
(中間南中学校1年)

平成22年度小・中学校人権作文から

私は、命は大切だなどと思いません。それは、仲間はずしやいじめなどで、簡単に自殺をしてしまう人がいるからです。でも、私は、そんなに簡単に命をすてていいのかなと疑問に思います。また、最近、ニュース番組でも、ほぼ毎日のように殺人事件が報道されています。なぜそんなに簡単に人を殺せるのか、疑問に思います。また、ついこの前、芸能人が自殺したと知り、自殺しようとする人には、きつと、はかりしれないつらさや苦しみがあると思います。でも、人はみんな、それを乗り越える力が必要だと思えます。私は、いじめられたりしたことがないからわからないのかもしれないけれど、それを乗り越えることができる人になりたいと思っています。

次に考えたことは、幸せについてです。私は、生きていくことが一番の幸せだと思えます。生きていくこと以上に大切なことなどないと思えます。幸せとは生きていないとおとずれないと思えます。私にとつて幸せとは、ご飯やおやつを普通に食べて、習い事に通って、おこずかいももらって、普通に暮らせるということだと思います。でも、ほかの国、たとえばカンボジアなどでは、おなかいっぱいご飯を食べることができないし、学校に行くこともできない人が多いそうです。とてもかわいそうだなと思います。でも、その国の子どもたちにも、幸せと思うことがあると思えます。日本は、そういう国々にもつともつと援助をした方がいいと思えます。私は今、その人たちに何もしてあげられませんが、だから、これからは、その人たちのことをもつと考えてあげなければいけないなと思えました。

人権標語

- 大丈夫 その一言が 救いの手
中間中学校2年 堀田 圭悟さん
- 無視されて きずつく心 わかるかな
中間中学校2年 北崎 杏佳さん
- こけた傷 それより痛い 胸の傷
中間中学校3年 大庭 七海さん

をしなければいけないのか、疑問に思います。差別されている人々は、食事も満足には食べられません。また、住む家も決まらなくていいものではありません。私はそれが気の毒だと思えます。だから差別を無くさなければいけないと思えますが、何をしたらいいのかわかりません。まずは、みんなが呼びかけのポスターなどを書いてはつたらいんじゃないかと思えました。

私は、この三つのことをとおして、命を大切にしようというのを感じました。

～市民図書館休館前の最後のイベント～ ●問合せ 市民図書館 ☎ (245) 4664

おはなし会と講演会に参加しませんか

おはなし会と講演会を開催

- 期 日 8月20日(日)
- 時間・場所
○おはなし会…午前11時～・市民図書館
○講演会…午前11時30分～・中央公民館
- 講 師 徳永明子さん(きりん文庫春日)
※託児を希望する人は、8月10日(金)までに図書館に申し込んでください。

9月から本の返却はブックポストへ

9月に本を返却する人は、図書館玄関右側にあるブックポストに返却してください。
ブックポストは9月中は使えますので、諸事情で返却が遅れている人も必ず9月中に返却してください。

おはなし会の開催場所が変更

市民図書館は、8月31日から平成24年6月まで休館します。そのため、おはなし会は9月は休み、10月からは場所を変えて実施する予定です。開催場所は決まり次第、お知らせします。





みんなのひろば

このページは、みなさんでつくるコーナーです。イラストやマンガ、エッセイ、お知らせなどをお待ちしております。はがきで広報広聴係までご連絡ください。



Cooking

今月のおすすめ料理



もやしとイカのいため物

材料(2人分)

もやし…1/2袋(105g)、イカ…110g、ニラ…1/2束(60g)、サラダ油…大さじ1/2、酒…大さじ1/2、酢…大さじ1/2、塩…小さじ1/3、こしょう…少々

作り方

- ①ニラは食べやすい長さに切る
- ②イカの胴は皮を除き、1cm幅の輪切りにし、さらに半分にする。足は食べやすい長さに切る。両方をさっと湯通しし、ザルに上げる
- ③フライパンにサラダ油を熱し、もやしを入れて塩の半分をふって炒める
- ④イカとニラも加えてさっと炒め、酒、残りの塩、こしょうで調味し、最後に酢をまわしかける

エネルギー 92kcal 食塩 1.4g

中間市食生活改善推進会(緑の会)

※広報なかも7月10日号の「ごぼうスティック」のエネルギーと食塩の数字に誤りがありました。正しくはエネルギー86kcal、食塩が0.3gです。お詫びして訂正します。

◆英彦山青年の家キャンプ場を 利用しませんか

指導員が、安全に楽しくできる
キャンプファイヤーや野外料理の
指導を行います。

●開催日 8月31日(日)まで

●場所 福岡県立英彦山青年
の家(田川郡添田町英彦山32・18)

●活動内容 キャンプファイヤ
ー、レクリエーション、野外調
理、クラフト、登山など

※利用方法によって、料金が異な
ります。詳しくはお問い合わせく
ださい。

●問合せ先 福岡県立英彦山青年
の家
☎0947(85)0101

◆手話講座に参加しませんか

中間手話の会による、手話講座
(入門編)を開催します。初心者大
歓迎ですので、お気軽に参加し
てください。

●期 日 9月1日～11月10日
の毎週木曜日(計10回)

※11月3日は休みです。

●時 間 午後7時～8時50分

●場 所 ハピネスなかも

●定 員 20人(先着順)

●受講料 2,000円(テキスト
代含む)

●申込方法 電話またはFAXで
申し込んでください

※FAXで申し込む場合は、講座
名、住所、氏名(ふりがな)、電話
番号を記入してください。

※8回以上出席した人には修了証
書をお渡しします。

●申込・問合せ先 中間市ボランテ
ィアセンター
☎(243)1292
FAX(244)1232

◆川柳を楽しみませんか

川柳に興味がある人、句会に出
て楽しませんか。

●日時・場所

○毎月第1月曜日(午前10時～正
午)・弥生公民館

○毎月第1金曜日(午後1時～3
時)・中央公民館

○毎月第1日曜日(午後1時～3
時)・通谷公民館

○毎月第4土曜日(午後1時～3
時)・新手工民館

●対象者 川柳に興味がある人

●会 費

○誌友費：年4,800円(機関誌
毎月発行1年分)

○句会費：月100～200円(開催場所
ごと)

●問合せ先 「川柳くろがね吟社」
吉富宅
☎(244)7298

◆列車の運転を体験してみよう

列車運転体験会

●日時・場所

○10月1日(土)午前10時～午後4時
筑豊電気鉄道楠橋車庫内(八幡西
区楠橋下方三丁目1985・2)

○10月8日(土)・午前10時～午後3
時・平成筑豊鉄道金田駅構内(田
川郡福智町金田1145・2)

●定 員 各日30人

●対 象 保護者同伴の小学3
年生～6年生

●列車運転シミュレーター体験会

●日 時 10月8日(土)・午前10
時～午後4時

●場 所 JR九州南福岡運転
区(博多区寿町一丁目1・1)

●対 象 保護者同伴の小学生

●定 員 25人

●いづれも

●申込方法 体験希望者氏名、保護
者氏名、郵便番号、住所、電話番号、
来場人数、希望会場を記入のうえ、
郵送で申し込んでください

※申し込みは、体験者1人につき、
1通必要です。

●申込締切 9月6日(日)

●申込・問合せ先 国土交通省九州
運輸局(〒812・0013博多区
博多駅東二丁目11・1)

☎092(472)4051

豆知識!

長期間保存用に使う臭いが染み付いた密閉式の容器は、米の研ぎ汁の中に1～2時
間つけておけば、ほとんどの臭いはとれる。

ホンのムシ

●問合せ 市民図書館 ☎(245)4664

●今月のおすすめ図書●



鉄は魔法使い

畠山重篤・著

カキを育てるには鉄が必要不可欠。生き物と鉄のことをずっと追いかけてきた、宮城県の気仙沼湾でカキの養殖をしている漁師が、魔法のような鉄のいろんな顔を紹介しつづる。



老年のぜいたく

三浦朱門・著

第一の人生の幸・不幸を見きわめ、第二の人生を充実せよう。アソビにひそむ重大な意味、アソビのない人生の行く末、勉強をアソビに変える技術、性的健康人のすすめなど、老年の生き方をつづる。

●おはなし会●

- 日時 8月20日(日)・午前11時～
- 内容 絵本の読み聞かせなど
- 協力 ほっとブックなかま

わが家のすこやかちゃん



よしもと 悠希ちゃん
平成22年11月20日生(中尾一丁目)

ご飯大好き悠希くん。いっぱい食べて元気に大きくなってね。パパとママと悠馬兄ちゃんといっぱい遊ぼうね。



よしもと ゆうまちゃん
平成20年9月14日生(中尾一丁目)

お兄ちゃんになった悠馬くん。まだまだ甘えん坊だけど、はるちゃんと仲良く遊んでね。大好きだよ。

編集後記

▶女子サッカーワールドカップで「なでしこジャパン」が見事優勝、世界一に。最高の舞台で最高の力をだせる、あのメンタリティ。どうやって培われてきたのでしょうか。すごすぎます。(健)

▶暑い夏がやってきました。みなさん夏バテ対策はできていますか。私は食べ過ぎというほどにしっかり食べています。私の食欲はどうなっているのか、とどまることを知りません。(謙)

◆さわられる遊べる昆虫展

科学館にむしむしランド出現。そこは驚きと不思議であふれている。日本や世界の虫がいっぱい。生きている虫がいっぱい。さわられる虫もいっぱい。遊んで、のぞいて、しらべて、さわってみよう。さあ、むしむしランドの発見の旅に出発だ。

- 会期 8月31日(日)まで
- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)
- 場所 福岡県青少年科学館(久留米市東櫛原町1713)
- 展示内容 生きているアトラス

◆第18回なのみ祭を開催

ステージでの出し物、作業作品の販売などを予定しています。た

- 問合せ 福岡県青少年科学館 ☎0942(37)5566
- 入場料 一般400円(300円)、高校生以下200円(150円)
- ※(一)内は30人以上の団体料金です。3歳以下、65歳以上の人は無料です。土曜日は高校生以下は無料です。

オオカブト、昆虫標本80点、顕微鏡でのぞく古代の昆虫、巨大昆虫パネルなど

くさんのみなさんのご来園をお待ちしています。

- 日時 8月27日(日)・午後4時～8時
- 雨天決行です。
- 場所 なのみ園(上底井野1832番地)
- 問合せ なのみ園事務局 ☎(245)6178

◆平成23年ボート免許の更新・失効講習を開催

更新は有効期限の1年前から、どこの会場でもできます。

- 日時 8月14日、9月11日、10月9日、11月13日、12月11日 ※いずれも日曜日です。
- 時間 午前10時～(受付は9時)
- 場所 サンリブ西日本文化サークル折尾教室(八幡西区大浦二丁目4-10)
- 持ってくるもの 海技免許証、印鑑
- 受講料 8,000円(失効再交付は14,000円)
- ※事前に提出していただく書類があります。詳しくはお問い合わせください。
- 申込・問合せ 野内携帯 ☎090(5281)7632

文芸歳時記



→犬淵悦子さん(扇ヶ浦二丁目)作

俳句

末永 あつし 選

纏まとれては風に吹かれて夏の蝶

上底井野

小林 香子

麦秋の風に色あり匂ひあり

太賀二丁目

白石 紀子

露つゆの皮剥いて指先匂ひひけり

通谷一丁目

石松 梅子

父の日の似顔絵届くフアクシミリ

扇ヶ浦四丁目

樋口 かなえ

水けむり上げ山笠の向き替はる

扇ヶ浦二丁目

宮崎 サカエ

短歌

中間市短歌会

立花 勲 選

ウインドに写りし我の姿見て曲りし背中を伸ばして歩く

太賀一丁目

石田 順子

旅の出来ぬ我れには程よき湖畔の宿訪ふ人あらば尚よきものを

八幡西区

宮崎 美芳

遠目には花とは知れずせんだんの紫あわく梢こずえをいろどる

朝霧二丁目

上山 昭子

地震に津波放射線にもおそわれて住む家もなく責任いずこ

土手ノ内一丁目

岡本 マキ子

梅雨なかば小さき旅は秋月へみどりの木漏れ日浴びてゆくなり

通谷一丁目

戸田 恵美子

川柳

吉富 廣 選

靴音で家族がわかる父帰宅

扇ヶ浦二丁目

大串 美佐子

趣味多く時のみ過ぎて身に付かず

中間四丁目

森 紀子

節電に威張って廻る扇風機

朝霧一丁目

阿部 和雄

趣味一つ持てず男の茶碗酒

中間三丁目

花川 民子

いつの間に戦力外が横に居る

朝霧二丁目

小崎 国雄

表紙説明

田中敬二郎さん、俊輔さん兄弟(中底井野)の7月27日の様子。すでに夏休みに入っているこの時期、2人は地域のラジオ体操に毎朝参加し、規則正しい生活を送っています。夏の暑さに負けず、元気いっぱい田んぼのあぜ道を走る姿を撮影しました。

■「広報なかま」の配布は発行日から開始します。みなさんのお手元に3日以内でお届けできるようにしています

■発行 福岡県中間市役所 ■編集 総務課広報広聴係
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号
TEL 093(244)1111 FAX 093(245)5598
■ <http://www.city.nakama.fukuoka.jp/>
■ webmaster@city.nakama.fukuoka.jp

■今回の「広報なかま」にかかった経費は1部約26円です